

注3

大学番号：私421

[平成23年度設置]

計画の区分：学部の学科設置

注1

届出

倉敷芸術科学大学 生命科学部 健康医療学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 加計学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 庶務部 庶務課

職名・氏名 オゴウ タケシ
小郷 剛司

電話番号 086-440-1111

（夜間） 086-440-1111

F A X 086-440-1126

e-mail t-ogou@hq.kusa.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	P. 1 ~ P. 4
2. 授業科目の概要	P. 5 ~ P. 14
3. 施設・設備の整備状況, 経費	P. 15 ~ P. 16
4. 既設大学等の状況	P. 17 ~ P. 22
5. 教員組織の状況	P. 23 ~ P. 33
6. 留意事項に対する履行状況等	P. 34 ~ P. 36
7. その他全般的事項	P. 37 ~ P. 39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 加計学園

(2) 大学名

倉敷芸術科学大学

(3) 大学の位置

〒712-8505

岡山県倉敷市連島町西之浦2640番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(カケ コウタロウ) 加計 晃太郎 (H13年1月)		
学長	(ソエダ タカシ) 添田 喬 (H17年4月)	(カラキ ヒデアキ) 唐木 英明 (H23年10月) (ドイ アキラ) 土井 章 (H26年4月)	体調不良により退職 (24) 退職による交代 (26)
生命科学部長	(ミヤノ ヨシモリ) 宮野 善盛 (H23年4月)		
健康医療学科主任	(ナイトウ ヒトシ) 内藤 整 (H23年4月)	健康医療学科長	職名変更 (25)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)

平成26年度に報告する内容 → (26)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
生命科学部 健康医療学科 学士(健康科学)	4年	30人 0	年次人	120人 0	平成26年4月学生募集停止(26) 入学定員 30→0名 收容定員 120→0名

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	30人 (-) [-]		30人 (-) [-]		30人 (-) [-]		0人 (-) [-]				0.53倍 平成26年4月学生募集停止(26)	
志願者数	30 (-) [-]		28 (-) [-]		22 (-) [-]		0 (-) [-]					
受験者数	28 (-) [-]		28 (-) [-]		21 (-) [-]		0 (-) [-]					
合格者数	28 (-) [-]		26 (-) [-]		21 (-) [-]		0 (-) [-]					
B 入学者数	19 (-) [-]		14 (-) [-]		15 (-) [-]		0 (-) [-]					
入学定員超過率 B/A	0.63		0.46		0.5		0					

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 19	[-] -	[-] 14	[-] -	[-] 15	[-] -	[-] 0	[-] -	平成23年9月に生命科学部健康科学科より転学科により1名追加(24) 平成24年度1年次生2名生命科学部健康科学科へ転学科(25) 平成26年4月学生募集停止(26)
2年次	[-] -	[-] -	[-] 20	[-] -	[-] 11	[-] -	[-] 14	[-] -	
3年次	/		[-] -	[-] -	[-] 19	[-] -	[-] 11	[-] -	
4年次			/		[-] -	[-] -	[-] 17	[-] -	
計	[-] 19	[-] -			[-] 34	[-] -	[-] 45	[-] -	

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	20 人	2 人	平成23年度	人	人		0.1 %
			平成24年度	1 人	人	就業意欲の低下(1名)	
			平成25年度	1 人	人	就職(1名)	
			平成26年度	人	人		
平成24年度 入学者	14 人	2 人	平成24年度	1 人	人	就職(1名)	0.1428571 %
			平成25年度	1 人	人	就業意欲の低下(1名)	
			平成26年度	人	人		
平成25年度 入学者	15 人	1 人	平成25年度	1 人	人	経済的困難(1名)	0.0666667 %
			平成26年度	人	人		
平成26年度 入学者	0 人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	49 人	5 人					0.1020408 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就業意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就業意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生命科学部 健康医療学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	哲学	1・2・3・4		2							兼 1	担当者退職のため今年度開講せず(24) 担当者追加(25) 担当 江原雅江(兼担)
	文学	1・2・3・4		2						兼 1 兼 1		
	歴史学	1・2・3・4		2						兼 2		
	日本語表現	1・2・3・4		2						兼 1		
	宗教学	1・2・3・4		2						兼 1		
	社会と言語	1・2・3・4		2						兼 1		
	心理学	1・2・3・4		2						兼 1		
	社会学	1・2・3・4		2						兼 1		
	環境と社会	1・2・3・4		2						兼 1		
	日本国憲法	1・2・3・4		2						兼 1		
	法学	1・2・3・4		2						兼 1		
	経済学	1・2・3・4		2						兼 1		
	物理学	1・2・3・4		2							兼 2	担当者変更(24) 担当 杉山宣彦(兼任)
	化学	1・2・3・4		2						兼 1		
	人間と環境	1・2・3・4		2						兼 1		
	地球科学	1・2・3・4		2						兼 2		
	数学	1・2・3・4		2						兼 2 兼 1 兼 2		
	世界と日本	1・2・3・4		2							兼 1	担当者退職のため今年度開講せず(24) 担当者追加(25) 担当者変更(26) 担当 中川重和(兼担)
	アジアの政治文化	1・2・3・4		2							兼 1	
	マスコミ論	1・2・3・4		2							兼 1	
	文章表現法	1・2・3・4		2						兼 1 兼 1		
人間の発達と形成	1・2・3・4		2						兼 1			
日本の伝統芸能	1・2・3・4		2						兼 1			
芸術と科学の協調	1 後 2 後 1 後		2						兼 3			
人生と仕事Ⅰ	1		2						兼 1			
人生と仕事Ⅱ	2		2						兼 1			

科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
教 養 科 目	キャリア・ラーニング	3前		2		1 2 1 2					兼1 兼3 兼2	担当者追加(23) 担当 岡野喜良(教授) 時任英人(兼任) 大野英志(兼任) 津野熊総一郎(兼任) 担当者変更(24) 担当 水田直美(兼任) 担当者変更(25) 担当 中川重和(兼任)
	キャリア・チャレンジI	2前		1		1					兼1	
	キャリア・チャレンジII	2後		1							兼1	
	基本数学	1		2							兼1	担当者追加(26)
	基本英語	1		2							兼1 兼3	担当 江原雅江(兼任) 長井龍月(兼任)
	基本化学	1		2							兼1	
	基本物理	1		2							兼1	
	倉敷まちづくり基礎論	1後 1前		2							兼2	教育効果を考慮して開講期を 変更 担当者変更(24) 担当 児島塊太郎(兼任)
	倉敷まちづくり実践論	1後		2							兼2	担当者変更及び追加(23)
	まちづくりインターンシップ	2前		2							兼3 兼1	担当 小出肇(兼任) 神田鉄平(兼任)
	動物入門(生き物を科学する)	1後		2							兼1	担当者調整(26) 教育課程充実の理由により、 科目を追加(23) 担当 古川敏紀(兼任)
	医療入門(生き物を科学する)	1前		2							兼1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 大野英治(兼任) 担当者退職による変更(26) 担当 宮本朋幸(兼任)
	演劇と芸術	1・2・3・4		2							兼1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 森田亜紀(兼任)
	現代の美術	1・2・3・4		2							兼1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 濱坂渉(兼任) 担当者追加(25) 担当 松村麻太(兼任) 担当者調整(26)
教養概論I	1・2・3・4		1		1					兼9	教育課程充実の理由により、 科目を追加(25) 担当 家住 利男(兼任) 大林 誠(兼任) 近藤 研二(兼任) 渡谷 真吾(兼任) 濱家 輝雄(兼任) 奥本 寛(兼任) 浅川 富美雪(兼任) 古川 敏紀(兼任) 大野 英治(兼任) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼任) 神原正明(兼任) 坂口卓也(兼任)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目	総合	教養概論Ⅱ	1・2・3・4	1		1					兼 9	教育課程充実の理由により、科目を追加(25) 担当 家住 利男(兼担) 大林 誠(兼担) 近藤 研二(兼担) 渡谷 真吾(兼担) 濱家 輝雄(兼担) 奥本 寛(兼担) 浅川 富美雪(兼担) 古川 敏紀(兼担) 大野 英治(兼担) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担)
		教養概論Ⅲ	1・2・3・4	2		1					兼 9	教育課程充実の理由により、科目を追加(25) 担当 家住 利男(兼担) 大林 誠(兼担) 近藤 研二(兼担) 渡谷 真吾(兼担) 濱家 輝雄(兼担) 奥本 寛(兼担) 浅川 富美雪(兼担) 古川 敏紀(兼担) 大野 英治(兼担) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担)
		教養概論Ⅳ	1・2・3・4	2		1					兼 9	教育課程充実の理由により、科目を追加(25) 担当 家住 利男(兼担) 大林 誠(兼担) 近藤 研二(兼担) 渡谷 真吾(兼担) 濱家 輝雄(兼担) 奥本 寛(兼担) 浅川 富美雪(兼担) 古川 敏紀(兼担) 大野 英治(兼担) 担当者変更(26) 担当 柳田宏治(兼担) 神原正明(兼担) 坂口卓也(兼担)
	外国語	英語Ⅰ	1前	2							兼 5	担当者退職による変更(26) 担当 谷川真利子(兼任) 長井龍月(兼任)
		英語Ⅱ	1後	2							兼 5	担当者退職による変更(26) 担当 谷川真利子(兼任) 長井龍月(兼任)
		中国語Ⅰ	1前	2							兼 1	
		中国語Ⅱ	1後	2							兼 1	
		英会話Ⅰ	1前	2							兼 2 兼 3	担当者追加(23) 担当 藤高邦宏(兼担) 担当者退職による変更(26) 担当 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任)
	英会話Ⅱ	1後	2							兼 3 兼 2 兼 3	担当者調整(23) 担当者退職による変更(26) 担当 長井龍月(兼任) Glenn Sumner(兼任)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	ドイツ語Ⅰ	1前		2							兼1	教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 河智弘(兼任) 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 河智弘(兼任) 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 太田陽子(兼任) 教育課程充実の理由により、科目を追加(24) 担当 太田陽子(兼任) 担当者変更(26) 担当 西川格(兼任) 担当者変更(26) 担当 西川格(兼任) 担当者変更(25) 担当 桑原直子(兼任) 担当者変更(25) 担当 桑原直子(兼任) 担当者変更(25) 担当 桑原直子(兼任) 担当者変更(26) 担当 小西 裕美(兼任) 担当者変更(25) 担当 桑原直子(兼任) 担当者変更(26) 担当 小西 裕美(兼任)	
	ドイツ語Ⅱ	1後		2							兼1		
	ハンゲルⅠ	1前		2							兼1		
	ハンゲルⅡ	1後		2							兼1		
	フランス語Ⅰ	1前		2							兼1		
	フランス語Ⅱ	1後		2							兼1		
	日本語Ⅰ	1前	2								兼2		
	日本語Ⅱ	1後	2								兼2		
	日本語会話Ⅰ	1前	2								兼2		
	日本語会話Ⅱ	1後	2								兼2		
	日本語理解Ⅰ	1前	2								兼2		
	日本語理解Ⅱ	1後	2								兼2		
	保健	保健体育概論	1		2								兼4 兼3 兼2
		保健体育実技Ⅰ	1前		2								兼4
保健体育実技Ⅱ		1後		2							兼4		
専攻科目	生理学	1前		2		1					兼1	教育効果を考慮し開講期を変更(24) 昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任への訂正(23) 担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師) 教育効果を考慮し開講期を変更(24) 担当者調整のため(24)	
		1後											
	生理学実習	1後		1				1	1		兼1		
	機能的解剖学	1前 1後		2							兼1		
	解剖学実習 生化学	1後 1前		1 2		1					兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	健康管理概論	1後 1前 1後		2		1					兼1	担当者追加(23) 担当 二神雅一(兼任) 教育効果を考慮し開講期を 変更(24) 教育効果を考慮し開講期及び 担当者変更(25) 担当 枝松千尋(兼担)
	衛生学・公衆衛生学 健康科学	1前 2後		2 2		1					兼1 兼1	
	メンタルヘルス	3前 3後		2							兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更及び担当者変更(25) 担当 相原彰子(兼任)
	バイオサイエンス	1後 1前 1後		2		1						教育効果を考慮し開講期を 変更(24) 教育効果を考慮し開講期を 変更(25) 教育効果を考慮し配当年次を 変更、担当者変更及び追加 (24) 担当 吉田悦男(教授) 水野恭志(兼担)
	一般救急救命	3後 2後 3後		2		1					兼1 兼3	教育効果を考慮し配当年次を 変更、担当者変更及び追加 (25) 担当 柏尚裕(兼担) 山野力(兼担)
	栄養学概論	2前		2		1						
	環境リスク論	2後		2							兼1	
	関係法規	3前		2					1			
	運動生理学	2前		2				1			兼1 兼2 兼1	担当者追加(24) 担当 椎葉大輔(兼担) 担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師)
	内科学Ⅰ(総論)	2前		2		1						
	外科学Ⅰ(総論)	3前		2							兼1	
	解剖学	1後		2							兼1	教育課程充実の理由により、 科目を追加(24) 担当 内藤一郎(兼任)
	専門科目	経絡経穴概論Ⅰ	1前		2					1		
		経絡経穴概論Ⅱ	1後		2					1		
基礎経穴		2前		2					1			
東洋医学総論Ⅰ		1前		2				1				
東洋医学総論Ⅱ		1後		2				1				
基礎はりきゅう理論		1前		2				1				
応用はりきゅう理論		3前		2		1						
東洋医学各論Ⅰ		2前		2				1				
東洋医学各論Ⅱ		2後		2				1				
東洋医学各論Ⅲ	3前		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目 専門科目	レディース鍼灸学	-2前 2後		2		1						教育効果を考慮し配当年次を変更(26)	
	スポーツ鍼灸学	2後		2						兼 1			
	社会はりきゅう学	2後		2				1					
	基礎はり実技	1通		2					1				
	基礎きゅう実技	1通		2					1				
	鍼灸臨床実習Ⅰ	2通		2						1	兼 1	担当者追加(25) 担当 大町成人(兼任)	
	鍼灸臨床実習Ⅱ	2通		2					1				
	鍼灸臨床実習Ⅲ	4通		2		1							
	鍼灸臨床実習Ⅳ	4通		2							兼 1		
	鍼灸診察法Ⅰ	2通		2						1			
	鍼灸診察法Ⅱ	3通		2		1							
	鍼灸治療所実習Ⅰ	3通		2		1		+		1	兼 1	担当者変更(26) 担当 藤川憲太郎(兼任)	
	鍼灸治療所実習Ⅱ	3通		2		1			1	1	兼 1	担当者追加(25) 担当 藤川憲太郎(兼任) 担当者調整(26)	
	学外関連施設見学実習	3後		1		1			1	1		昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任への訂正(23)	
	ウエイトコントロール論	3前		2		+			1	+	兼 1 兼 2 兼 1	担当者調整及び担当者変更(25) 担当 飯田智行(兼任) 担当者退職(26)	
	健康食品学	3後		2							兼 1		
	セラピー論	3前		2							兼 1		
	リラクゼーション論	3後 3前		2							兼 1	教育効果を考慮し開講期を変更(25) 昇格のため(23)	
	ボディーケア	2前		2		2			+	+	兼 1	担当者変更(24) 担当 佐藤圭子(兼任) 昇格のため(23)	
	ボディーケア実習	2後		2		2			+	+	兼 1	担当者変更(24) 担当 佐藤圭子(兼任)	
	アロマセラピー	3後 3前		2							兼 1	教育効果を考慮し開講期を変更(25)	
	ヒーリング実習	1前		2							兼 1		
	中医栄養学	3前		2		1							
	中医栄養学実習	3後		2							兼 1		
	漢方学	2後		2							兼 1		
	香粧品科学	1後 3前		2							兼 1	教育効果を考慮し配当年次を変更(24)	
植物機能学	3前		2		1								
植物成分分析実験	3後		2		1								
栽培学	3前		2		1								
栽培学実習	3通		2		1								
病理学	2前		2							兼 1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目 専門科目	脳外科学	3後		2							兼1	
	生活習慣病予防	2前		2		2					兼1	担当者変更(26) 担当 枝松千尋(兼担)
	スポーツ医学Ⅰ	2前		2							兼1	
	スポーツ医学Ⅱ	3前 2後		2							兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更(25)
	スポーツ医学Ⅲ	3後		2							兼1	担当者変更(26) 担当 福嶋啓祐(兼任)
	スポーツ社会学	4後		2							兼1	
	スポーツ指導論Ⅰ	4前		2							兼1	
	スポーツ指導論Ⅱ	4後		2							兼1	
	スポーツトレーニング理論	2前		2				1		1	兼1 兼4 兼3	昇格のため(23) 誤記載による専任から兼担 への訂正(23) 担当者追加(24) 担当 猪木原孝二(兼担) 枝松千尋(兼担) 荒木直彦(兼担) 担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師) 昇格のため(23) 誤記載による専任から兼担 への訂正(23)
	スポーツ指導者基礎	1後		2				1		1	兼1 兼2 兼1	担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師) 担当者追加(25) 担当 飯田智行(兼担) 担当者退職(26)
	アスレティックトレーナー概論	1前 1後		2							兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更(25)
	スポーツ心理学	4前		2							兼1	担当者変更(26) 担当 山本浩二(兼任)
	体表解剖学	1後 1前		2							兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更(25) 担当者追加(24)
	運動負荷試験(実習含む)	2後		2				1			兼2 兼1	担当 椎葉大輔(兼担) 担当者転属(25) 担当 椎葉大輔(講師)
	テーピング理論(実習含む)	3前		2							兼1	
	スポーツコンディショニング理論	2後		2							兼1	
	アスレティックリハビリテーション理論	3後		2							兼1	担当者変更(26) 担当 吉田俊明(兼任)
	アスレティックリハビリテーション実習	4前		2							兼1	担当者変更(26) 担当 吉田俊明(兼任)
	アスレティックトレーナー実習Ⅰ	4前		2							兼2 兼1	担当者調整(26)
	アスレティックトレーナー実習Ⅱ	4後		2							兼2 兼1	担当者調整(26)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	アスレティックトレーナー実習Ⅲ	4後 4通		2							兼2 兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更及び担当者調整(26)
	トレーニング科学	3前		2							兼1	
	バイオメカニクス	4前		2							兼1	
	体力測定法(実習含む)	3前		2							兼1	
	ストレッチング理論(実習含む)	3前		2							兼1	
	スポーツ障害論	2後 3前		2							兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更(25)
	栄養指導論	3後		2		1						
	スポーツ栄養学	3後		2		1						
専攻科目	専門関連科目	体育原理	2前 2後 2前	2							兼1 兼2	教育効果を考慮し開講期を 変更(24) 教育効果を考慮し開講期を 変更及び担当者追加(25) 担当 石田博也(兼任)
		スポーツ実習Ⅰ(陸上)	1前	2							兼1	
	スポーツ実習Ⅱ(水泳)	1後 1前	2							兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更(25)	
	スポーツ実習Ⅲ(球技)	2前	2				1			兼1	担当者追加(26) 担当 椎葉大輔(講師)	
	スポーツ実習Ⅳ(武道)	2後	2							兼1		
	スポーツ実習Ⅴ(テニス)	3前	2			1	4			兼1	昇格のため(23)	
	スポーツ実習Ⅵ(体操)	3後 3前	2							兼1	教育効果を考慮し開講期を 変更(25) 担当者追加(24) 担当 大上偉才(兼任)	
	ウィンタースポーツ実習	1後	2		1		1			兼1 兼2 兼1	担当者変更及び追加(25) 担当 内藤整(教授) 椎葉大輔(講師)	
	フィールドワーク	2前	2		2					兼2	担当者変更(23)	
	コンピュータリテラシ	1前	2							兼1	担当—藤原敏勝(兼任) 担当者変更(24) 担当 渡谷真吾(兼担)	
	卒業研究	4通		6		5	1	2 1 2	1		昇格のため(23) 担当者追加(26) 担当 椎葉大輔(講師) 松田昌子(助教)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 141	科目	科目 149	科目 8	科目 142	科目	科目 150	
					150		158	
					155		163	
				[]	[+1]	[]	[+1]	
				[]	[+9]	[]	[+9]	
				[]	[+14]	[]	[+14]	

(注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校 の廃止に伴う、校舎敷 地の移管のため。ま た、隣接する総合医療 教育センターを結ぶ道 路を倉敷市により新設 されることになり、新 設道路の土地及び既存 道路の土地を倉敷市に 譲渡し、道路の維持管 理を委任。(25)			
	校 舎 敷 地	133,308.98㎡ 135,599.71㎡	㎡	㎡	133,308.98㎡ 135,599.71㎡				
	運 動 場 用 地	85,876.00㎡	㎡	㎡	85,876.00㎡ 80,043.00㎡				
	小 計	219,184.98㎡ 221,475.71㎡	㎡	㎡	219,184.98㎡ 215,642.71㎡				
	そ の 他	28,483.00㎡	㎡	㎡	28,483.00㎡				
	合 計	247,667.98㎡ 249,958.71㎡	㎡	㎡	247,667.98㎡ 244,125.71㎡				
(2) 校 舎	専 用	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,224.80㎡	㎡	㎡	44,259.54㎡ 44,274.06㎡ 46,224.80㎡	11号館トイレ増築(24) 隣接する同一法人内の 倉敷 食と器 専門学校の 廃止に伴う、校舎の 移管のため。また、大 学内の厚生会館(食 堂)の座席数を増や し、学生へのサービス 向上を目的に増築。 (25)			
		(44,259.54㎡) (44,274.06㎡) (46,224.80㎡)	(㎡)	(㎡)	(44,259.54㎡) (44,274.06㎡) (46,224.80㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体(22) 当該学科所属(23)			
	3-2室 1	2-8室 0	9-3室 7	10室 0 (補助職員 0人)	1室 0 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			年次進行とともに研究室 を増加するため(23)年次 進行とともに研究室を増 加するため(24)年次進行 とともに研究室を増加す るため(25)			
	生命科学部 健康医療学科		8 6 7 9	室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	震災の影響により納品 遅延(23) 追加購入のため(24) 追加購入及び管理変更 のため(25) 追加購入及び管理変更 のため(26)	
	健康医療学科	3,321 [620] (3,321 [620])	610 [230] (610 [230])	0 [0] (0 [0])	100 (100)	242 (242) (838) (816) (1,009)	30 (30) (7) (35) (48)		
	計	3,321 [620] (3,321 [620])	610 [230] (610 [230])	0 [0] (0 [0])	100 (100)	242 (242) (838) (816) (1,009)	30 (30) (7) (35) (48)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	㎡								
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	㎡								
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等について は、見込を誤ったた め。また、設備購入費 については、追加購入 のため(24)
		教員1人当り研究費等	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	教授1,277千円 准教授・講師 1,140千円	図書購入費	300千円	200千円	400千円	
	共同研究費等	2,000千円 1,400千円	2,000千円	設備購入費	2,500千円	2,000千円 3,552千円	4,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,760千円	第2年次 1,540千円	第3年次 1,540千円	第4年次 1,540千円	第5年次 — 千円	第6年次 — 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、私立大学等経常費補助金 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	倉敷芸術科学大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院 (芸術研究科)								岡山県倉敷市 連島町西之浦 2640番地	平成18年度より産業科学技術学部コンピュータ情報学科より30名、生命科学科より10名を振替。生命科学部に生命動物科学科を設置し、健康科学科10名増。
美術専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.45	平成11年度		
工芸専攻修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.20	平成11年度		
芸術研究科修士課程 計						0.32			
芸術制作表現専攻 博士(後期)課程	3	4	—	12	博士(芸術)	0.58	平成13年度		
芸術研究科博士課程 計						0.58			平成19年度より芸術学部工芸・デザイン学科より10名、起業学科より10名を生命動物科学科に振替。
(産業科学技術研究科)									
計算機科学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	0.12	平成11年度		
機能物質化学専攻修士課程	2	8	—	16	修士(産業科学技術)	1.31	平成11年度		
産業科学技術研究科修士課程 計						0.71			
計算機科学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.00	平成13年度		平成20年度より芸術学部美術学科、工芸・デザイン学科を募集停止し、芸術学部美術工芸学科、デザイン学科を設置。産業科学技術学部観光科学科を設置。コンピュータ情報学科は、IT科学科に名称変更。起業学科は、起業経営学科に名称変更。
機能物質化学専攻 博士(後期)課程	3	2	—	6	博士(工学)	0.33	平成13年度		生命科学部に生命医科学科を設置。生命科学科より、10名を観光科学科に振替。生命動物科学科編入学3年次8名増。
産業科学技術研究科博士課程 計						0.16			
(人間文化研究科)									
人間文化専攻修士課程	2	15	—	30	修士(学術)	0.23	平成11年度		
人間文化研究科 計						0.23			
大学院(通信制) (芸術研究科)									
美術専攻(通信制)修士課程	2	10	—	20	修士(芸術)	0.10	平成14年度		
芸術研究科 計						0.10			
(産業科学技術研究科)									
機能物質化学専攻(通信制)修士課程	2	20	—	40	修士(産業科学技術)	0.00	平成14年度		平成21年度より芸術学部美術工芸学科より5名を生命動物科学科へ振替。芸術学部デザイン学科より5名を生命医科学科へ振替。
産業科学技術研究科 計						0.00			産業科学技術学部IT科学科より5名を生命科学科へ振替。産業科学技術学部IT科学科より5名を観光科学科へ振替。
(人間文化研究科)									
人間文化専攻(通信制)修士課程	2	30	—	60	修士(学術)	0.09	平成14年度		産業科学技術学部コンピュータ情報学科(通信教育課程)は、IT科学科(通信教育課程)に名称変更。
人間文化研究科 計						0.09			

大学の名称	倉敷芸術科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学 (芸術学部)								岡山県倉敷市 連島町西之浦 2640番地	
美術工芸学科	4	—	—	—	学士(芸術)	—	平成20年度		平成23年度より産業科学技術学部IT科学科、起業経営学科を募集停止し、産業科学技術学部に経営情報学科を設置。
メディア映像学科	4	50	2	154	学士(芸術)	1.22	平成14年度		生命科学部健康科学科より5名を振替、25名純増し健康医療学科を設置。
デザイン芸術学科	4	55	—	160	学士(芸術)	0.77	平成20年度		
芸術学部 計						0.98			
(産業科学技術学部)									
IT科学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成7年度		
起業経営学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成16年度		平成24年度より産業科学技術学部経営情報学科より5名をメディア映像学科へ振替。産業科学技術学部経営情報学科より5名を生命医科学科へ振替。
観光学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成20年度		
経営情報学科	4	95	4	261	学士(産業科学技術)	0.62	平成23年度		
産業科学技術学部 計						0.62			
(生命科学部)									
生命科学科	4	50	—	185	学士(生命科学)	1.14	平成16年度		平成25年度より生命科学部生命動物科学科の3年次編入学定員8名を、芸術学部メディア映像学科、産業科学技術学部観光学科、経営情報学科へ3年次編入学定員2名ずつ振替。
健康科学科 健康科学専攻	4	55	—	220	学士(健康科学)	1.06	平成16年度		
鍼灸専攻	4	30	—	30					
動物生命科学科	4	60	2	259	学士(生命科学)	0.99	平成18年度		
生命医科学科	4	50	—	195	学士(生命科学)	1.07	平成20年度		
健康医療学科	4	—	—	—	学士(健康科学)	—	平成23年度		
生命科学部 計						1.06			
学部(通信教育課程)									
(産業科学技術学部)									
IT科学科	4	—	—	—	学士(産業科学技術)	—	平成16年度		平成26年度より芸術学部デザイン学科をデザイン芸術学科に名称変更、生命科学部生命動物科学科を動物生命科学科へ名称変更。また、芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科、生命科学部健康医療学科を学生募集停止し、芸術学部美術工芸学科より15名をメディア映像学科へ振替、20名をデザイン芸術学科へ振替、産業科学技術学部観光学科より45名、3年次編入学定員2名を経営情報学科へ振替、生命科学部健康医療学科より30名を健康科学科へ振替(健康科学専攻55名、鍼灸専攻30名の2専攻を設置)、動物生命科学科より5名を生命科学科へ振替。芸術学部美術学科、工芸・デザイン学科を廃止。

大学の名称	岡山理科大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	定員 超過率	開 年 設 度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
大学院								岡山県岡山市北区	
理学研究科修士課程						0.66		理大町1番1号	・名称変更
応用数学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（理学）	0.83	昭和55年度		平成17年度より工学
化学専攻修士課程	2	16	—	32	修士（理学）	0.62	昭和49年度		研究科機械工学専攻→
応用物理学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	0.42	昭和49年度		機械システム工学専攻
総合理学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.54	昭和63年度		
生物化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（理学）	0.92	平成4年度		
臨床生命科学専攻修士課程	2	12	—	24	修士（理学）	0.62	平成20年度		
動物学専攻修士課程	2	4	—	8	修士（理学）	1.00	平成24年度		
理学研究科博士課程（後期）						0.30			平成20年度より、
応用数学専攻	3	4	—	12	博士（理学）	0.08	昭和62年度		理学研究科臨床生命科
博士課程（後期）									学専攻を設置。
材質理学専攻	3	9	—	27	博士（理学）	0.40	昭和53年度		
博士課程（後期）									平成21年度より、
工学研究科修士課程						0.49			工学研究科福祉システム
応用化学専攻修士課程	2	13	—	26	修士（工学）	0.26	平成2年度		工学専攻を募集停止し
機械システム工学専攻	2	13	—	26	修士（工学）	0.46	平成2年度		知能機械工学専攻
修士課程									を設置。
電子工学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.62	平成2年度		平成23年度より、
情報工学専攻修士課程	2	10	—	20	修士（工学）	0.55	平成8年度		工学研究科生体医工学
知能機械工学専攻	2	8	—	16	修士（工学）	0.75	平成21年度		専攻、建築学専攻を設
修士課程									置。
生体医工学専攻修士課程	2	6	—	12	修士（工学）	0.58	平成23年度		
建築学専攻修士課程	2	8	—	16	修士（工学）	0.37	平成23年度		
工学研究科博士課程（後期）						0.26			
システム科学専攻	3	5	—	15	博士（工学）	0.26	平成2年度		
博士課程（後期）									
総合情報研究科修士課程						0.65			
情報科学専攻修士課程	2	7	—	14	修士（総合情報）	0.49	平成13年度		平成24年度より、
生物地球システム専攻	2	7	—	14	修士（総合情報）	1.13	平成13年度		理学研究科動物学専攻
修士課程									を設置。
社会情報専攻修士課程	2	6	—	12	修士（総合情報）	0.24	平成13年度		
総合情報研究科博士課程（後期）						0.83			
数理・環境システム専攻	3	2	—	6	博士（学術）	0.83	平成15年度		
博士課程（後期）									

大学の名称	岡山理科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
学部									
理学部						1.21		岡山県岡山市北区	
応用数学科	4	95	—	370	学士（理学）	1.22	昭和39年度	理大町1番1号	・名称変更
化学科	4	70	—	285	学士（理学）	1.30	昭和39年度		平成18年度より、
応用物理学科	4				学士（理学）		昭和41年度		応用化学科応用化学専
物理科学専攻	4	30	—	120	学士（理学）	1.02	平成14年度		攻、生物・環境化学専
医用科学専攻	4	40	—	160	学士（理学）		平成14年度		攻→バ・イ・応用化学科
基礎理学科	4	75	—	300	学士（理学）	1.23	昭和50年度		
生物化学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.23	昭和63年度		
臨床生命科学科	4	85	—	340	学士（理学）	1.24	平成16年度		平成19年度より、
動物学科	4	40	—	160	学士（理学）	1.23	平成20年度		工学部生体医工学科、 総合情報学部建築学科 を設置。
工学部						1.13			
バイオ・応用化学科	4	75	—	300	学士（工学）	1.18	昭和61年度		
機械システム工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.26	昭和61年度		・名称変更
電気電子システム学科	4	70	—	280	学士（工学）	1.10	昭和61年度		平成19年度より、
情報工学科	4	85	—	340	学士（工学）	1.25	平成4年度		工学部電子工学科→
知能機械工学科	4	55	—	225	学士（工学）	0.94	平成17年度		→電気・電子システム学科
生体医工学科	4	60	—	240	学士（工学）	0.91	平成19年度		
			3年次						平成20年度より、
建築学科	4	70	5	215	学士（工学）	1.16	平成23年度		理学部動物学科を 設置。
総合情報学部						1.19			
情報科学科	4	80	—	320	学士（総合情報学）	1.17	平成9年度		
生物地球システム学科	4	—	—	—	学士（総合情報学）	—	平成9年度		平成22年度より
社会情報学科	4	80	—	310	学士（総合情報学）	1.15	平成9年度		留学生別科を設置
			3年次						
建築学科	4		—	—	学士（総合情報学）	—	平成19年度		平成23年度より、 総合情報学部建築学科 を募集停止し、工学部 建築学科を設置。
生物地球学部						1.18			
生物地球学科	4	100	—	200	学士（理学）	1.18	平成24年度		
(理学専攻科)									
応用数学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		平成24年度より
化学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		総合情報学部生物地球 システム学科（70名）を募 集停止し、定員を30名
応用化学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		純増した生物地球学部 生物地球学科（100名） を設置。
応用物理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
機械理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
電子理学専攻	1	5	—	5		0.00	昭和46年度		
教職特別課程	1	50	—	50		0.14	平成2年度		平成26年度より 生物地球学科20名増

大学の名称	千葉科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
大学院 薬学研究科 薬学専攻 博士課程	4	3	-	6	博士（薬学）	0.33	平成24年度	千葉県銚子市 潮見町3番地	H24年度名称変更 （薬科学研究科 →薬学研究科）
薬科学専攻 修士課程	2	10	-	20	修士（薬科学）	0.50	平成22年度		
博士課程（後期）	3	5	-	15	博士（薬科学）	0.00	平成22年度		
危機管理学研究科 危機管理学専攻 修士課程	2	5		10	修士（危機管理学）	1.20	平成20年度		平成20年度より大学院薬科学研究科薬科学専攻修士課程及び同危機管理学研究科危機管理学専攻修士課程を設置。
博士課程（後期）	3	3		9	博士（危機管理学）	0.33	平成22年度		
大学 薬学部 薬学科	6	120	4年次	770	学士（薬学）	0.85	平成18年度		H21年度入学定員変更 180人→150人 H22年度入学定員変更 150人→120人 H22年度4年次編入学定員変更 5人→10人 H26年度4年次編入学募集停止
薬科学科	4	-	-	-	学士（薬科学）	-	平成18年度		H22年度募集停止、学生の卒業を待って廃止
動物生命薬科学科	4	-	-	-	学士（動物生命薬科学）	-	平成20年度		H22年度募集停止、学生の卒業を待って廃止
生命薬科学科	4	40	-	180	学士（生命薬科学）	0.50	平成22年度		H24年度入学定員変更 50人→40人
危機管理学部 危機管理システム学科	4	100	-	410	学士（危機管理）	0.99	平成16年度		H26年度3年次編入学募集停止
動物・環境システム学科	4	-	-	-	学士（危機管理）	-	平成21年度		H24年度募集停止、学生の卒業を待って廃止 H26年度3年次編入学募集停止
環境危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.73	平成24年度		
医療危機管理学科	4	80	-	330	学士（危機管理）	1.18	平成21年度		H26年度3年次編入学募集停止
工学技術危機管理学科	4	40	-	170	学士（危機管理）	0.25	平成22年度		H25年度名称変更 （航空・輸送安全学科→工学技術危機管理学科） H26年度3年次編入学募集停止
動物危機管理学科	4	40	-	80	学士（危機管理）	0.81	平成24年度		
看護学部 看護学科	4	80	-	80	学士（看護学）	1.21	平成26年度		平成26年度開設

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「-」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・ 大学，短期大学においては学科単位（短期大学において専攻課程を置くときは専攻課程単位），大学院においては専攻単位で記入してください。

5 教員組織の状況

<生命科学部 健康医療学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	内藤 整 (45)	平成23年4月	人間と環境 バイオサイエンス 栽培学 栽培学実習 フィールドワーク 卒業研究	専任	教授	内藤 整 (48)	平成23年4月	人間と環境 バイオサイエンス 栽培学 栽培学実習 フィールドワーク 卒業研究 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ ウィンタースポーツ実習	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(25)
専任	教授	吉田 悦男 (53)	平成23年4月	生理学 健康管理概論 内科学Ⅰ(総論) ボディーケア ボディーケア実習 生活習慣病予防 卒業研究	専任	教授	吉田 悦男 (56)	平成23年4月	生理学 健康管理概論 内科学Ⅰ(総論) ボディーケア ボディーケア実習 生活習慣病予防 卒業研究 一般救急救命	担当科目追加(24)
					兼任	講師	佐藤 圭子 (53)	平成24年4月	ボディーケア ボディーケア実習	担当者変更(24)
					兼担	教授	柏 尚裕 (61)	平成25年4月	一般救急救命	担当者変更(25)
					兼担	准教授	枝松 千尋 (40)	平成26年4月	生活習慣病予防	担当者変更(26)
専任	教授	吉田 繁子 (68)	平成23年4月	健康科学 栄養学概論 ウエイトコントロール論 ボディーケア ボディーケア実習 中医栄養学 生活習慣病予防 栄養指導論 スポーツ栄養学 卒業研究	専任	教授	吉田 繁子 (71)	平成23年4月	健康科学 栄養学概論 ウエイトコントロール論 ボディーケア ボディーケア実習 中医栄養学 生活習慣病予防 栄養指導論 スポーツ栄養学 卒業研究	担当者調整(25)
					兼任	講師	佐藤 圭子 (53)	平成24年4月	ボディーケア ボディーケア実習	担当者変更(24) 担当者変更(24)
専任	教授	河邊 誠一郎 (65)	平成24年4月	化学 生化学 植物機能学 植物成分分析実験 フィールドワーク 卒業研究	専任	教授	河邊 誠一郎 (67)	平成24年4月	化学 生化学 植物機能学 植物成分分析実験 フィールドワーク 卒業研究	
					兼任	講師	杉山 宣彦 (62)	平成24年4月	化学	担当者変更(24)
兼担	教授	河邊 誠一郎 (64)	平成23年4月	化学 生化学	兼担	教授	河邊 誠一郎 (67)	平成23年4月	化学 生化学	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	教授	内田 輝和 (64)	平成25年4月	応用はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅲ レディース鍼灸学 鍼灸臨床実習Ⅲ 鍼灸診察法Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	専任	教授	内田 輝和 (65)	平成25年4月	応用はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅲ レディース鍼灸学 鍼灸臨床実習Ⅲ 鍼灸診察法Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	
兼任	講師	内田 輝和 (63)	平成24年4月	レディース鍼灸学	兼任	講師	内田 輝和 (65)	平成24年4月	レディース鍼灸学	
専任	講師	経遠 雄三 (62)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ スポーツ実習Ⅴ(テニス) 卒業研究	専任	講師 准教授	経遠 雄三 (65)	平成23年4月	保健体育概論 保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ スポーツ実習Ⅴ(テニス) 卒業研究	昇格のため(23) 体調不良のため(23) 担当者変更(24)
					兼任	講師	高原 皓全 (28)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ	担当科目調整のため(23)
専任	講師	箕口 けい子 (38)	平成23年4月	東洋医学総論Ⅰ 東洋医学総論Ⅱ 基礎はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅰ 東洋医学各論Ⅱ 社会はりきゅう学 基礎きゅう実技 鍼灸臨床実習Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	専任	講師	箕口 けい子 (41)	平成23年4月	東洋医学総論Ⅰ 東洋医学総論Ⅱ 基礎はりきゅう理論 東洋医学各論Ⅰ 東洋医学各論Ⅱ 社会はりきゅう学 基礎きゅう実技 鍼灸臨床実習Ⅱ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習 卒業研究	
					兼任	講師	藤川 憲太郎 (43)	平成26年4月	鍼灸治療所実習Ⅰ	担当者変更(26)
専任	助教	椎葉 大輔 (33)	平成25年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論	専任	助教 講師	椎葉 大輔 (34)	平成25年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論 運動生理学 運動負荷試験 ウィンタースポーツ実習	昇格のため(23) 担当科目追加(24) 担当科目追加(24) 担当科目追加(25) 担当者転属(25)
専任	助教	椎葉 大輔 (31)	平成23年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論	専任	助教 兼任	椎葉 大輔 (34)	平成23年4月	生理学実習 ボディーケア ボディーケア実習 スポーツトレーニング理論 スポーツ指導者基礎 ウエイトコントロール論 運動生理学 運動負荷試験	昇格のため(23) 誤記載による専任から兼任への訂正(23) 担当科目追加(24) 担当科目追加(24)
					兼任	講師	佐藤 圭子 (53)	平成24年4月	ボディーケア ボディーケア実習	担当者変更(24) 担当者変更(24)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専任	助教	松田 昌子 (44)	平成23年4月	解剖学実習 関係法規 経穴経絡概論Ⅰ 経穴経絡概論Ⅱ 基礎経穴 基礎はり実技 鍼灸臨床実習Ⅰ 鍼灸診察法Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習	専任	助教	松田 昌子 (47)	平成23年4月	解剖学実習 関係法規 経穴経絡概論Ⅰ 経穴経絡概論Ⅱ 基礎経穴 基礎はり実技 鍼灸臨床実習Ⅰ 鍼灸診察法Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅰ 鍼灸治療所実習Ⅱ 学外関連施設見学実習	
兼任	教授	浅川 富美雪 (64)	平成23年4月	衛生学・公衆衛生学	兼任	教授	浅川 富美雪 (67)	平成23年4月	衛生学・公衆衛生学 教養概論Ⅰ 教養概論Ⅱ 教養概論Ⅲ 教養概論Ⅳ	教育課程の充実を図るため、科目を追加(25)
兼任	教授	猪木原 孝二 (52)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ実習Ⅳ(武道)	兼任	教授	猪木原 孝二 (55)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ実習Ⅳ(武道) スポーツトレーニング理論	担当科目追加(24)
兼任	教授	大川 元久 (52)	平成24年4月	病理学 脳外科学	兼任	教授	大川 元久 (54)	平成24年4月	病理学 脳外科学	
兼任	教授	岡 憲明 (48)	平成23年4月	化粧品科学	兼任	教授	岡 憲明 (51)	平成23年4月	化粧品科学	
兼任	教授	柏 尚裕 (58)	平成23年4月	機能的解剖学 一般救急救命 外科学Ⅰ(総論) 解剖学実習 スポーツ医学Ⅰ スポーツ医学Ⅱ スポーツ医学Ⅲ 運動負荷試験 スポーツ障害論	兼任	教授	柏 尚裕 (61)	平成23年4月	機能的解剖学 一般救急救命 外科学Ⅰ(総論) 解剖学実習 スポーツ医学Ⅰ スポーツ医学Ⅱ スポーツ医学Ⅲ 運動負荷試験 スポーツ障害論	担当者調整のため(24)
					専任	教授	吉田 悦男 (55)	平成24年4月	一般救急救命	担当者変更(24)
					兼任	教授	柏 尚裕 (61)	平成25年4月	一般救急救命	担当者変更(25)
					兼任	講師	福嶋 啓祐 (63)	平成26年4月	スポーツ医学Ⅲ	担当者変更(26)
兼任	教授	川上 雅之 (67)	平成24年4月	健康科学 運動生理学	兼任	教授	川上 雅之 (69)	平成24年4月	健康科学 運動生理学	
兼任	教授	妹尾 護 (58)	平成23年4月	地球科学 環境リスク論 フィールドワーク	兼任	教授	妹尾 護 (61)	平成23年4月	地球科学 環境リスク論 フィールドワーク	
兼任	教授	村山 公保 (43)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータリテラシ	兼任	教授	村山 公保 (46)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論 コンピュータリテラシ	
					兼任	教授	藤原 敏勝 (71)	平成23年4月	コンピュータリテラシ	担当者変更(23)
					兼任	教授	渡谷 真吾 (50)	平成24年4月	コンピュータリテラシ	担当者変更(24)
兼任	教授	渡辺 守 (65)	平成23年4月	数学	兼任	教授	渡辺 守 (66)	平成23年4月 平成24年4月	数学	役職名変更(24) 担当者調整(25)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学	兼任	教授	中本 太一 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング 数学	中本教授退職 複数の学科専任教員が担当者 であるため教育上影響はない (24)
					兼任	准教授	水田 直美 (48)	平成24年4月	キャリア・ラーニング	中本教授退職のため平成24年 度より担当者変更(24)
					兼任	講師	岡本 宏 (62)	平成24年4月	数学	中本教授退職のため平成24年 度より担当者変更(24)
兼任	教授	小山 悦司 (58)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ	兼任	教授	小山 悦司 (60)	平成23年4月	キャリア・チャレンジⅠ キャリア・チャレンジⅡ 倉敷まちづくり実践論 まちづくりインターンシップ	担当者変更(23)
					兼任	教授	小出 肇 (59)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)
					兼任	教授	小山 悦司 (61)	平成26年4月	まちづくりインターンシップ	担当者調整(26)
					兼任	准教授	神田 鉄平 (34)	平成23年4月	まちづくりインターンシップ	担当教員追加(23)
					兼任	教授	小山 悦司 (61)	平成26年4月	まちづくりインターンシップ	担当者調整(26)
					兼任	教授	植木 利彦 (68)	平成23年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	兼任
					兼任	講師	長井 龍月 (60)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	植木教授退職のため担当者変 更(26)
					兼任	講師	Glenn Sumner (39)	平成26年4月	英会話Ⅱ	植木教授退職のため担当者変 更(26)
兼任	教授	塩飽 直紀 (67)	平成23年4月	環境と社会	兼任	教授	塩飽 直紀 (70)	平成23年4月	環境と社会 経済学	担当科目追加(26)
兼任	教授	渡辺 肇 (67)	平成23年4月	経済学	兼任	教授	渡辺 肇 (69)	平成23年4月	経済学	
					兼任	教授	塩飽 直紀 (70)	平成26年4月	経済学	渡辺教授退職のため平成26年 度より担当者変更(26)
兼任	教授	河野 正英 (48)	平成23年4月	法学	兼任	教授	河野 正英 (51)	平成23年4月	法学	
兼任	教授	山崎 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	兼任	教授	山崎 宏暉 (66)	平成23年4月	文学 文章表現法	山崎教授退職 「後任未定」平成24年度は開 講せず(24) 担当者追加(25) 山崎教授退職 複数の教員が担当者であるた め教育上影響はない(24) 担当者追加(25)
					兼任	准教授	江原 雅江 (44)	平成25年4月	文学	担当科目追加(25)
					兼任	講師	加納 直子 (41)	平成25年4月	文章表現法	担当科目追加(25)
					兼任	准教授	水田 直美 (48)	平成26年4月	文章表現法	担当者変更(26)
兼任	教授	鈴木 まどか (65)	平成23年4月	歴史学	兼任	教授	鈴木 まどか (68)	平成23年4月	歴史学	
兼任	教授	濱坂 渉 (59)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	濱坂 渉 (62)	平成23年4月	芸術と科学の協調 現代の美術	教育課程の充実を図るため、 科目を追加(24)
					兼任	講師	松村 麻太 (42)	平成25年4月	現代の美術	担当者追加(25) 担当者調整(26)
兼任	教授	Caspar SCHWABE (57)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	兼任	教授	Caspar SCHWABE (60)	平成23年4月	倉敷まちづくり実践論	

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	教授	時任 英人 (60)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化	兼任	教授	時任 英人 (62)	平成23年4月	歴史学 政治学 アジアの政治文化 キャリア・ラーニング	担当科目追加(23)
兼任	教授	西川 高史 (59)	平成23年4月	哲学 宗教学	兼任	教授	西川 高史 (62)	平成23年4月	哲学 宗教学	
兼任	教授	中島 道夫 (60)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	中島 道夫 (62)	平成23年4月	芸術と科学の協調	中島教授死去のため、担当者調整中(26)
兼任	教授	藤高 邦宏 (67)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	教授	藤高 邦宏 (69)	平成23年4月	人生と仕事Ⅱ 英語Ⅰ 英語Ⅱ 英会話Ⅰ	担当科目追加(23)
					兼任	准教授	森島 由紀子 (62)	平成26年4月	人生と仕事Ⅱ	担当者退職による変更(26)
					兼任	講師	谷川 真利子 (62)	平成26年4月	英語Ⅰ 英語Ⅱ	担当者退職による変更(26)
					兼任	講師	Glenn Sumner (39)	平成26年4月	英会話Ⅰ	担当者退職による変更(26)
兼任	教授	趙 慧欣 (52)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	兼任	教授	趙 慧欣 (55)	平成23年4月	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ	
兼任	教授	赤木 恒雄 (58)	平成23年4月	人間の発達と形成	兼任	教授	赤木 恒雄 (60)	平成23年4月	人間の発達と形成	
兼任	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	兼任	教授	佐藤 恒夫 (58)	平成23年4月	芸術と科学の協調	
					兼任	准教授	加藤 敬史 (46)	平成23年4月	芸術と科学の協調	担当者変更(23)
兼任	教授	唐川 千秋 (50)	平成23年4月	心理学	兼任	教授	唐川 千秋 (53)	平成23年4月	心理学	
兼任	教授	山本 健治 (62)	平成23年4月	物理学	兼任	教授	山本 健治 (65)	平成23年4月	物理学	
兼任	准教授	荒木 直彦 (43)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ指導論Ⅰ スポーツ指導論Ⅱ トレーニング科学 スポーツ実習Ⅱ(水泳) スポーツ実習Ⅲ(球技) ウエイトコントロール論	兼任	准教授	荒木 直彦 (46)	平成23年4月	保健体育概論 スポーツ指導論Ⅰ スポーツ指導論Ⅱ トレーニング科学 スポーツ実習Ⅱ(水泳) スポーツ実習Ⅲ(球技) ウエイトコントロール論 スポーツトレーニング理論	担当科目追加(24)
					兼任	講師	飯田 智行 (34)	平成24年4月	保健体育概論 ウエイトコントロール論	担当者変更(24) 担当者変更(25) 担当者退職(26)
兼任	准教授	加藤 敬史 (43)	平成23年4月	地球科学 フィールドワーク	兼任	准教授	加藤 敬史 (46)	平成23年4月	地球科学 フィールドワーク 芸術と科学の協調	担当科目追加(23)
兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	兼任	准教授	五十嵐 英之 (47)	平成23年4月	倉敷まちづくり基礎論	
					兼任	教授	児島 塊太郎 (66)	平成24年4月	倉敷まちづくり基礎論	担当者変更(24)
兼任	准教授	水田 直美 (45)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語	兼任	准教授	水田 直美 (48)	平成23年4月	日本語表現 社会と言語 キャリア・ラーニング 文章表現法	担当科目追加(24) 担当科目追加(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	准教授	江原 雅江 (41)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英会話 II	兼任	准教授	江原 雅江 (44)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英会話 II 文学 基本英語	担当科目追加(25) 担当科目追加(26)
兼任	准教授	大野 英志 (41)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英会話 I 英会話 II	兼任	准教授	大野 英志 (44)	平成23年4月	英語 I 英語 II 英会話 I 英会話 II キャリア・ラーニング	担当者調整のため(23) 担当科目追加(23) 担当科目追加(26)
					兼任	教授	中川 重和 (50)	平成25年4月	キャリア・ラーニング	担当者変更(25)
兼任	講師	枝松 千尋 (37)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II バイオメカニクス スポーツ実習 I ウィンタースポーツ実習 ウエイトコントロール論	兼任	講師 准教授	枝松 千尋 (40)	平成23年4月	保健体育実技 I 保健体育実技 II バイオメカニクス スポーツ実習 I (陸上) ウィンタースポーツ実習 ウエイトコントロール論 スポーツトレーニング理論 健康管理概論	昇格のため(24) 担当科目追加(24) 担当科目追加(25)
					専任	講師	椎葉 大輔 (34)	平成25年4月	ウィンタースポーツ実習	担当者変更(25)
兼任	講師	山野 力 (43)	平成23年4月	アスレティックトレーナー概論 体表解剖学 テーピング理論(実習含む) スポーツコンディショニング理論 アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習 アスレティックトレーナー実習 I アスレティックトレーナー実習 II アスレティックトレーナー実習 III 体力測定法(実習含む) ストレッチング理論(実習含む)	兼任	講師	山野 力 (45)	平成23年4月	アスレティックトレーナー概論 体表解剖学 テーピング理論(実習含む) スポーツコンディショニング理論 アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習 アスレティックトレーナー実習 I アスレティックトレーナー実習 II アスレティックトレーナー実習 III 体力測定法(実習含む) ストレッチング理論(実習含む) 一般救急救命	担当者調整(26) 担当科目追加(25)
					兼任	講師	吉田 俊明 (59)	平成26年4月	アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習	担当者変更(26)
兼任	助教	大杉 忠則 (34)	平成23年4月	人生と仕事 I	兼任	助教	大杉 忠則 (35)	平成23年4月	人生と仕事 I	
					兼任	講師	黒田 明雄 (59)	平成25年4月	人生と仕事 I	担当者変更(25)
兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	兼任	助教	藤塚 千秋 (32)	平成23年4月	保健体育概論	退職のため(23) 担当者複数のため支障なし
兼任	講師	大町 成人 (47)	平成24年4月	スポーツ鍼灸学 鍼灸臨床実習IV	兼任	講師	大町 成人 (49)	平成24年4月	スポーツ鍼灸学 鍼灸臨床実習IV 鍼灸臨床実習 I	担当科目追加(25)
兼任	講師	折田 真弓 (30)	平成23年4月	リラクゼーション論 ヒーリング実習	兼任	講師	折田 真弓 (33)	平成23年4月	リラクゼーション論 ヒーリング実習	
兼任	講師	梶谷 信之 (57)	平成23年4月	スポーツ実習VI(体操)	兼任	講師	梶谷 信之 (60)	平成23年4月	スポーツ実習VI(体操)	
兼任	講師	後藤 清志 (58)	平成26年4月	スポーツ心理学	兼任	講師	後藤 清志 (57)	平成26年4月	スポーツ心理学	
					兼任	講師	山本 浩二 (35)	平成26年4月	スポーツ心理学	担当者変更(26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	兒山 志保美 (50)	平成23年4月	メンタルヘルス	兼任	講師	兒山 志保美 (52)	平成23年4月	メンタルヘルス	
					兼任	講師	梶原 彰子 (34)	平成25年4月	メンタルヘルス	担当者変更(25)
兼任	講師	田中 まり (51)	平成24年4月	中医營養学実習 漢方学 アロマテラピー	兼任	講師	田中 まり (53)	平成24年4月	中医營養学実習 漢方学 アロマテラピー	
兼任	講師	徳永 敏文 (50)	平成26年4月	スポーツ社会学	兼任	講師	徳永 敏文 (50)	平成26年4月	スポーツ社会学	
兼任	講師	森 智恵 (47)	平成25年4月	セラピー論	兼任	講師	森 智恵 (48)	平成25年4月	セラピー論	
兼任	講師	吉田 俊明 (59)	平成26年4月	アスレティックトレーナー実習Ⅰ アスレティックトレーナー実習Ⅱ アスレティックトレーナー実習Ⅲ	兼任	講師	吉田 俊明 (59)	平成26年4月	アスレティックトレーナー実習Ⅰ アスレティックトレーナー実習Ⅱ アスレティックトレーナー実習Ⅲ アスレティックリハビリテーション理論 アスレティックリハビリテーション実習	担当科目追加(26)
兼任	講師	米谷 正造 (51)	平成24年4月	体育原理	兼任	講師	米谷 正造 (53)	平成24年4月	体育原理	
兼任	講師	内藤 佐和 (39)	平成25年4月	健康食品学	兼任	講師	内藤 佐和 (40)	平成25年4月	健康食品学	
兼任	講師	津野熊 総一郎 (62)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ	兼任	講師	津野熊 総一郎 (65)	平成23年4月	基本英語 英語Ⅰ 英語Ⅱ キャリア・ラーニング	担当科目追加(23) 担当科目調整のため(24)
兼任	講師	杉山 宣彦 (59)	平成23年4月	基本化学	兼任	講師	杉山 宣彦 (62)	平成23年4月	基本化学 化学	担当科目追加(24)
兼任	講師	岡本 宏 (59)	平成23年4月	基本数学	兼任	講師	岡本 宏 (62)	平成23年4月	基本数学 数学	担当科目追加(24)
兼任	講師	足守 浩 (59)	平成23年4月	日本国憲法	兼任	講師	足守 浩 (62)	平成23年4月	日本国憲法	
兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	岩崎 英人 (61)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	
					兼任	講師	久米 大祐 (27)	平成24年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	担当者変更(24)
					兼任	講師	石田 博也 (35)	平成25年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	担当者変更(25)
兼任	講師	犬飼 義秀 (58)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	兼任	講師	犬飼 義秀 (61)	平成23年4月	保健体育実技Ⅰ 保健体育実技Ⅱ	担当者退職(26)
兼任	講師	小西 通雄 (81)	平成23年4月	マスコミ論	兼任	講師	小西 通雄 (84)	平成23年4月	マスコミ論	
兼任	講師	角 光義 (58)	平成23年4月	物理学 基本物理	兼任	講師	角 光義 (61)	平成23年4月	物理学 基本物理	
兼任	講師	中原 靖之 (64)	平成23年4月	世界と日本	兼任	講師	中原 靖之 (67)	平成23年4月	世界と日本	
兼任	講師	中村 道一 (41)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	兼任	講師	中村 道一 (43)	平成23年4月	ドイツ語Ⅰ ドイツ語Ⅱ	
兼任	講師	藤間 友 (70)	平成23年4月	日本の伝統芸能	兼任	講師	藤間 友 (71)	平成23年4月	日本の伝統芸能	
					兼任	講師	吾妻 寛穂 (66)	平成25年4月	日本の伝統芸能	担当者変更(25)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	加納 直子 (38)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	加納 直子 (40)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II 文章表現法	担当科目追加 (25)
					兼任	講師	桑原 直子 (41)	平成25年4月	日本語会話 I 日本語会話 II	担当者変更 (25) 担当者変更 (25)
					兼任	講師	西川 格 (61)	平成26年4月	日本語 I 日本語 II	担当者変更 (26)
					兼任	講師	小西 裕美 (42)	平成26年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更 (26)
					兼任	准教授	水田 直美 (48)	平成26年4月	文章表現法	担当者変更 (26)
兼任	講師	児玉 正子 (60)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	兼任	講師	児玉 正子 (63)	平成23年4月	日本語 I 日本語 II 日本語会話 I 日本語会話 II 日本語理解 I 日本語理解 II	
					兼任	講師	桑原 直子 (41)	平成25年4月	日本語理解 I 日本語理解 II	担当者変更 (25) 担当者変更 (25)
兼任	講師	禹 暎瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	兼任	講師	禹 暎瑩 (37)	平成23年4月	日本語演習 I 日本語演習 II	誤記載による削除 (23)
					兼任	教授	古川 敏紀 (65)	平成23年4月	動物入門(生き物を科学する) 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当科目追加 (23) 教育課程の充実を図るため、科目を追加 (25)
					兼任	教授	岡野 喜良 (65)	平成23年4月	キャリア・ラーニング	担当者追加 (23)
					兼任	講師	二神 雅一 (48)	平成23年4月	健康管理概論	担当者追加 (23)
					兼任	准教授	枝松 千尋 (40)	平成25年4月	健康管理概論	担当者変更 (25)
					兼任	教授	大野 英治 (65)	平成24年4月	医療入門(生き物を科学する) 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、科目を追加 (24) 教育課程の充実を図るため、科目を追加 (25)
					兼任	講師	宮本 朋幸 (35)	平成26年4月	医療入門(生き物を科学する)	担当者変更 (26)
					兼任	教授	坂口 卓也 (60)	平成26年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当者変更 (26)
					兼任	教授	森田 亜紀 (59)	平成24年4月	演劇と芸術	教育課程の充実を図るため、科目を追加 (24)
					兼任	講師	水野 恭志 (46)	平成24年4月	一般救急救命	担当者追加 (24)
					兼任	講師	大上 偉才 (27)	平成24年4月	ウィンタースポーツ実習	担当者追加 (24)
兼任	講師	内藤 一郎 (63)	平成24年4月	解剖学	教育課程の充実を図るため、科目を追加 (24)					

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	河 智弘 (43)	平成24年4月	ハングル I ハングル II	教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (24)
					兼任	講師	太田 陽子 (45)	平成24年4月	フランス語 I フランス語 II	教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (24)
					兼任	教授	渡谷 真吾 (50)	平成24年4月	コンピュータリテラシ 教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当者追加 (24) 教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (25)
					兼任	教授	中川 重和 (50)	平成25年4月	キャリア・ラーニング 数学	担当者追加 (25) 担当科目追加 (26)
					兼任	講師	松村一麻太 (43)	平成25年4月	現代の美術	担当者追加 (25) 担当者退職 (26)
					兼任	教授	家住 利男 (61)	平成25年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (25)
					兼任	教授	大林一誠 (62)	平成25年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (25)
					兼任	教授	柳田 宏治 (54)	平成26年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当者変更 (26)
					兼任	教授	近藤一研二 (60)	平成25年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (25)
					兼任	教授	神原 正明 (62)	平成26年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	担当者追加 (26)
					兼任	教授	濱家 輝雄 (66)	平成25年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (25)
					兼任	教授	奥本 寛 (60)	平成25年4月	教養概論 I 教養概論 II 教養概論 III 教養概論 IV	教育課程の充実を図るため、 科目を追加 (25)
					兼任	講師	飯田一智行 (34)	平成25年4月	スポーツ指導者基礎	担当者追加 (25) 担当者退職 (26)
					兼任	講師	石田 博也 (35)	平成25年4月	体育原理 保健体育実技 I 保健体育実技 II	担当者追加 (25)
					兼任	講師	藤川 憲太郎 (43)	平成25年4月	鍼灸治療所実習 II 鍼灸治療所実習 I	担当者追加 (25) 担当科目追加 (26) 担当者調整 (26)
					兼任	講師	長井 龍月 (60)	平成26年4月	基本英語 英語 I 英語 II 英会話 I	担当者追加 (26)
					兼任	講師	谷川 真利子 (62)	平成26年4月	英語 I 英語 II	担当者追加 (26)

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	Glenn Sumner (39)	平成26年4月	英会話Ⅰ 英会話Ⅱ	担当者追加(26)
					兼任	准教授	森島 由紀子 (62)	平成26年4月	人生と仕事Ⅱ	担当者追加(26)
					兼任	講師	西川 格 (61)	平成26年4月	日本語Ⅰ 日本語Ⅱ	担当者追加(26)
					兼任	講師	小西 裕美 (42)	平成26年4月	日本語理解Ⅰ 日本語理解Ⅱ	担当者追加(26)
					兼任	講師	山本 浩二 (35)	平成26年4月	スポーツ心理学	担当者追加(26)
					兼任	講師	福嶋 啓祐 (63)	平成26年4月	スポーツ医学Ⅲ	担当者追加(26)
					兼任	講師	関口 勝夫 (64)	平成26年4月	ボディーケア実習	担当者追加(26)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
5	0	2	2	9	5	1	2	1	9	65	3
(3)	(0)	(2)	(1)	(6)	[]	[+1]	[]	[Δ1]	[]	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (23年5月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (24年5月)	生命科学部健康医療学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	定員充足に向け来年度以降、入学定員の確保が行えるよう、説明会・高校訪問・出張講義・オープンキャンパス等、学科の周知に努め、入学定員確保が行えるよう努めてまいります。	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (25年5月)	生命科学部健康医療学科, 千葉科学大学薬学部生命薬科学科, 危機管理学部航空・輸送安全学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	健康医療学科は、入学定員確保に向けて次のような対策をとった。 オープンキャンパス・高校訪問・説明会等で、学科を分かりやすく紹介する工夫を行い、その結果、オープンキャンパス参加者では、平成23年度に31名だったのが、平成24年度では36名に増加し、資料請求では、平成23年度507件だったのが、平成24年度では672件と増加した。	・学生に対する就職支援に力をいれ、安心して入学出来る体制を確立し、入学生確保に努める。 ・今後、健康医療学科を含む大学全体の学部組織を、より魅力のある学部学科に改編するよう検討している。 対応完了予定時期 平成26年度内
		千葉科学大学薬学部生命薬科学科は、平成24年度より、定員の見直しを行い、入学定員を50名から40名に変更した。また、平成24年度より、危機管理学部の学科改組により、3名の教員が所属変更した。このため教育課程の見直しを行い、専任教員1名を採用、1名の専任教員の所属変更と助手から助教への1名昇格により、教育内容の充実に努めてきた。その結果、志願者数は毎年減少していたが、今年度は増加の予定である。	引き続き教育内容を充実するとともに、受験生に理解が得られるよう広報活動を行い学生確保に努める。
		千葉科学大学危機管理学部航空・輸送安全学科は、受験生に与える印象と教育内容の不一致が定員未充足の原因ではないかと思われることから、工学に興味を持ち、災害や事故に対処できる若者の興味をひくとともに、従来からのパイロット希望者の関心も維持し志願者の増加を図ることが可能と考え、教育課程の見直しを行い、平成25年度より学科名称を工学技術危機管理学科に変更する手続きを行った。	

設置計画履行状況 調査時 (26年5月)	生命科学部健康医療学科、芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科の学生募集を平成26年4月より停止します。 (平成25年4月25日付で報告書提出済)	該当無し	
		<p>千葉科学大学薬学部生命薬科学科の志願者数(入学者数)は2012年度は52名(18名)、2013年度は50名(23名)だった。2014年度入試はまだ進行中であるが、これまでで志願者数は59名となっていて、志願者増加が見られている。最終的な入学者数の増加を期待している。</p>	<p>6年制薬学科に比べて生命薬科学科では資格が取れない、という受験生、父兄の判断で受験者数が低迷していた傾向があるので、本学科では生命科学に関わる多様なキャリアパスが得られることをアピールしている。また、優秀な学生に対する特待生制度によって質の向上を図っている。ここ何年か、薬学部全体に対する受験生の志向が下降していたが、やや回復の兆しがあるので、本学科の施策ともども入試状況の改善につながることが期待される。2014年度の入学者数が確定した時点で、入学定員見直しを含めて計画を再検討する。</p>
		<p>生命科学部健康医療学科、芸術学部美術工芸学科、産業科学技術学部観光学科、千葉科学大学薬学部生命薬科学科、危機管理学部工学技術危機管理学科の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>工学的技術を用い危機管理にあたる人材を育成するという学科の教育理念のもと、「防災技術コース」及び「パイロット・整備コース」を設置している。「防災技術コース」においては、火災、水害、地震などの実験装置を用い、体験的に防災技術に関する専門知識を学ぶことにより、様々な危機を想定し、予防や的確な対処ができる能力を培うことを目標にしている。先の東日本大震災を経験し、改めて「防災」に対する重要性が問われている中、工学的見地からの防災技術を社会に紹介するなど、本コースで行っている教育研究活動を積極的に情報発信し認知度の向上を図っていく。また、「パイロット・整備コース」においては、次年度からは被災地と都市との間の人員や物資の移送に威力を発揮する航空機や車両の運航、整備に携わるとともに航空機や車両の利用に貢献できる人材の養成に関し、従前の自家用操縦資格取得から事業用操縦資格を取得できるよう教育内容を充実させる予定である。本学科は工学系の学科で有ることから機械系、電気系の学科を設置している工業系高校を中心に高校訪問活動を強化するとともに、工学系志望、航空機の利用に興味のある生徒にDM等を発送し、学部、学科の教育理念、目指す人材養成像の浸透を図り、入学定員確保を目指す方針である。</p>

<p>芸術学部メディア映像学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>定員超過率が1.00になるように入学定員を見直し、平成26年4月より入学定員を35名→50名に変更します。 (平成25年4月25日付で届出書提出済)</p>	<p>該当無し</p>
--------------------------------------	---	-------------

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<産業科学技術学部 経営情報学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

倉敷芸術科学大学教育研究推進委員会規定 (添付)

b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)

平成24年度

第1回教育研究推進委員会	平成25年	5月22日(水)	参加20名
第2回教育研究推進委員会	平成25年	7月24日(水)	参加21名
第3回教育研究推進委員会	平成25年	9月9日(水)	参加24名
第4回教育研究推進委員会	平成25年	10月30日(水)	参加20名
第5回教育研究推進委員会	平成26年	2月5日(水)	参加21名

c 委員会の審議事項等

主な議題: 委員長・副委員長選出について

到達目標について

授業アンケートについて

学生満足度アンケートについて

授業公開について

FD報告書等作成について

教育改善に向けての課題

学生満足度調査について

教育研究推進委員会の最終検証について

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業評価アンケート
- ・ 授業公開
- ・ FD講演会

b 実施方法

- ・ 授業アンケート・・・前期後期定期試験前原則として全授業科目を対象として実施
- ・ 授業公開・・・授業アンケートにおいて、高評価の教員を公開授業の対象とし、後期に1週間実施
- ・ FD講演会・・・年間3回程度、外部講師や学内の教員による講演会を実施

- c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・ 授業アンケート・・・全教員を対象に前期、後期各1回実施
 - ・ 授業公開・・・・・・・・・・後期に1週間各学科1名程度の教員を対象に実施するが、聴講希望者は数名にとどまる
 - ・ FD講演会・・・・・・・・・・年間3回程度実施している。40～50名程度の教職員が参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）について、全学的に行っている活動における授業改善への方法は、次のように行われている。まず授業アンケートでは、各項目の各人の評価点数（5段階評価）と学部全体の評価点を比較できるようフィードバックし、全体における評価に対し、各人が担当する科目の評価点数を比較することで、改善の余地がある項目について確認できる仕組みとなっている。これにより、ここの担当教員が改善を行うこととしている。また、アンケートには自由記述欄を設けており、学生からの具体的な指摘を受けた内容について、必要に応じて改善を加えている。また、問題点が大きい場合は、当該学部長を交え改善について注意を促すこととしている。

アンケート内容や実施方法については、教育研究推進委員会にて現状確認を行い、改善の必要があれば議論し改善を行っている。

授業公開、FD講演会では、参加した教員がそれぞれの着眼点で授業改善に有効となる発想を見つけ改善に取り組んでいる。

また、学科においても体系的なカリキュラムを構築し、学科で必須の分野に関する科目のリメディアル教育を充実させ、ITやメディア教材を活用し学生の理解度を上げる工夫を行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施の有無・・・有

実施時期・・・前期授業（平成25年7月18日（木）～平成25年7月31日（水））

後期授業（平成26年1月21日（火）～平成26年2月3日（月））

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内において授業評価アンケートを閲覧出来る場所を設置し、各授業評価アンケート結果データを紙ファイルにて公開を行っている。また、大学ホームページ上においても学科毎の授業評価アンケート結果を電子データにて公開を行い授業の改善に役立てている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

経営情報学科の趣旨・目的の達成状況については、4年間の学士課程教育を終えた時点での評価を待たざるを得ないが、趣旨・目的を達成させるために教育研究活動や管理運営組織等を点検評価する体制を整えている。具体的には、本学では当該年度の活動を点検評価した結果をまとめたFD活動年次報告書を刊行している。経営情報学科でも、各年度の活動を、公益財団法人大学基準協会の定めた大学基準（評価項目）に沿って、例えば「1. 理念・目的」では、PDCAサイクルに基づいて、「目標」、「現状」、「点検・評価」、「改善・改革方策」の順に確認して、その結果を上述の報告書に記載することとしている。

このような点検評価体制により、経営情報学科の趣旨・目的の達成に向けて、今後も引き続き設置計画を確実に履行するとともに、学士課程教育にふさわしい教育研究水準の維持・向上に努める所存である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・原則として毎年公開

b 公表方法

・報告書を作成し、近隣大学等に配布

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成22年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成23年4月大学基準に適合していると認定された。（認定期間：H23.4.1～H30.3.31）
認定期間が終了する前に、評価期間の評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成26年度内公開予定)